

令和4年8月

普及活動報告



講義風景



主要農業機械のメンテナンス実演

京都丹波就農サポート講座 第4回 ～農業機械の安全操作とメンテナンス 方法を学ぶ～

(3日)

今回は、JA及び農機メーカーからの協力を得て、農業機械の安全操作とメンテナンス方法の講義と実演を行いました。

農機メーカーから、農作業事故の現状や作業中に起こりやすい事故の事例等を動画等で紹介した後、2班に分かれてトラクターや草刈り機等の始業前の点検箇所や操作について実演を行い、主な農業機械のメンテナンスの必要性について学習しました。

受講生からは「機械の安全意識が高まった」「これまでメンテナンスの説明を受ける機会がなかったので良い機会になった」等の感想がありました。普及センターは今後も新たな担い手の基礎技術の習得や早期経営確立に向けて支援していきます。

場 所：JA全農京都中部物流
センター

出席者数：28名

令和4年度受講生：20名（就労支援事業所：3名、亀岡市：3名、南丹市：5名、京丹波町：9名）、講座回数：全7回（11月8日までの予定）

京都府南丹農業改良普及センター

令和4年8月

普及活動報告

京都丹波就農サポート講座 第5回 ～秋冬野菜の栽培技術と農業気象災害 対策を学ぶ～

(18日)



ポット苗（実物）を用いた講義

秋冬野菜の講義では、自己の栽培記録による適正な作付規模が重要であることや実物のポット苗を用いて苗の見極め及び定植方法について説明をしました。

また、近年頻発している農業気象災害について事例とその対策を紹介しました。

参加者からは「ポット育苗とセルトレイ育苗の特徴や良い苗の見分け方がよくわかった」「今後も起こりうる異常気象に対して対策・解決策の事例を聞いてみたい」等の感想がありました。普及センターは今後も、新たな担い手の基礎技術の習得や早期経営確立に向けて支援していきます。



農業気象災害対策の説明

場 所 園部総合庁舎

出席者数 23名

令和4年度受講生：20名（就労支援事業所：3名、亀岡市：3名、南丹市：5名、京丹波町：9名）、講座回数：全7回（11月8日までの予定）

京都府南丹農業改良普及センター

令和4年8月

普及活動報告

互見会で会員相互の理解を深める ～南丹地域農業士会夏期研修会を開催～ (19日)



機械化された調製・出荷作業を見学



栽培ハウスを見学

南丹地域農業士会は、2年ぶりの夏期研修会として互見会を開催しました。法人化し大規模経営に取り組んでいる事例や非農家から農業に取り組んだ事例などを視察し、会員がお互いに情報交換することにより、相互理解が深まりました。

参加者からは、獣害や水路等の維持管理についての質問もあり、地域の課題を考える機会にもなりました。

場 所 南丹地域農業士会会員
ほ場等3カ所(京丹波町)
出席者数 15名

令和4年度 南丹地域農業士会会員31名

京都府南丹農業改良普及センター